

ワンポイント
One Point

FinTech 18

Vol.

PICK UP
TOPICS

未来の財布 銀行・企業争奪



日本が世界の中で大きく後れをとっているのがキャッシュレス化だ。ヤフーやLINE、コンビニエンスストアなどの事業会社（企業）がスマートフォン（スマホ）決済に続々と参入し、ディストラクション（創造的破壊）を起こす。既存の銀行とがぶり四つに組む競争が始まりつつある。

ケニアの首都ナイロビ。ここでは買物物の景色が変わって久しい。支払いに使うのは現金ではなくスマホ。成人の大半がスマホ決済を利用する。

代表格が「M-Pesa（エムペサ）」だ。Mはモバイル、ペサはスワヒリ語でお金を意味する。クレジットカードはおろか、銀行口座も必要ない。国内に数千あるという代理店で手続きすれば個人

スマホ決済急成長

主戦場 決済から融資へ

問の送金も可能だ。途上国を席巻

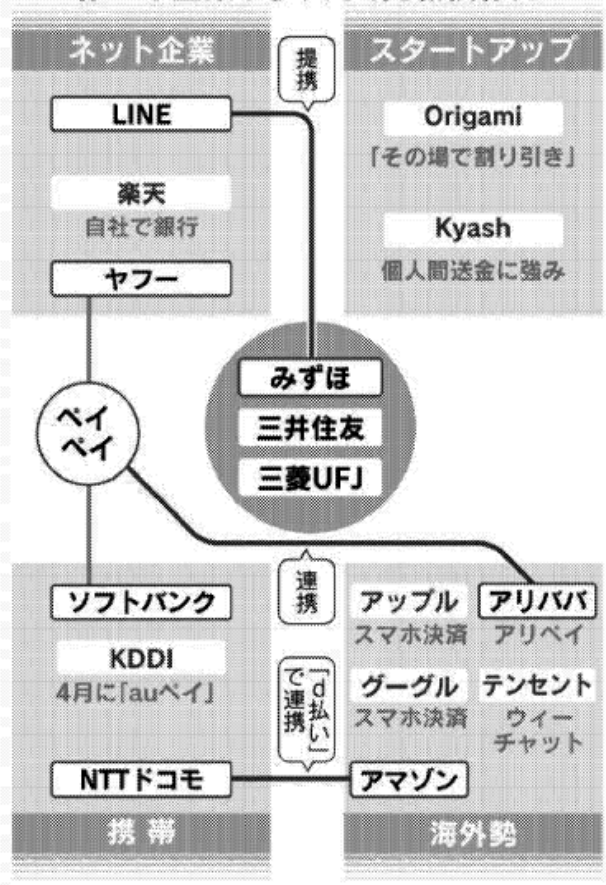
南アフリカのICTワーカーによると、2018年4〜6月期にケニアのモバイル取引額は同国の国内総生産（GDP）を上回った。今やケニア国民にとって生活必需品といえる。

バンケラデッシュでも14年にサービスが始まった「シユアキャッシュ」が急速に広がる。いずれもスマホが銀行代わりだ。一方、日本はキャッシュレス後進国。野村総合川辺健太郎社長はスマホ決済をこう位置付ける。

計最終消費支出に占めるキャッシュレスの比率は16年時点で19・8%。先進国では韓国（96・4%）や英国（68・7%）などと比べても低い。政府が掲げる25年までの目標も4割にとどまる。

日本で動きが早かったのはネット企業だ。LINEや楽天が先行し、ヤフーも18年10月に親会社のソフトバンクグループと組んで「ペイペイ」を導入した。「データの会社になる。そのため1丁目1番地」。ヤフーの

キャッシュレス決済は 様々な企業が参入し、乱戦模様だ



IT企業はスマホ決済を通じて消費者のデータを取得する（大阪市内の百貨店）

（裏面へつづく）

ネット企業はこれまで自社のサービスにポイントや付与してポイント経済圏を作り、ユーザーを囲い込んできた。だが、従来のポイント経済圏はネットの中に限られる。スマホ決済は経済圏をネットの外にあるリアル店舗など「オフライン」にまで広げられる利点がある。ユーザーの消費履歴や行動パターンなど、得られるデータの種類の量が飛躍的に増えるからだ。スマホ決済のユーザーをどれだけ確保できるかは、データ資本主義における競争力を左右する。

危うさも露呈

ただ、数を追うがゆえの危うさも露呈した。18年12月、都内の家電量販店に高額商品を求める顧客が詰めかけた。ペイペイが実施した大規模キャンペーンが目当てだったが、情報保護の仕組みが甘く、不正利用が相次ぎ発覚した。

一方、銀行も腰を上げた。みずほフィナンシャルグループはLINEと提携し、20年にもインターネット銀行を設立する。LINEの出沢剛社長は「規制が言い訳になり、本来やるべき努力ができていない」と既存の金融機関に手厳しい。

銀行は決済、融資、預金の3つを主な役割として利用者を増やし、強固な基盤を築いてきた。テックノロジーの転換で土台である決済に新勢力がなだれ込んできた。次は融資でも競争が起る可能性がある。中国ではすでにアリババ集団系の「芝麻(ゴマ)信用」が融資の基準になりつつある。スマホに取り込まれた財布を制するのは誰か。キャッシュレスの攻防戦は、データエコノミーの勝敗に直結する。

(おわり)

杉本貴司、河野祥平、藤玲が担当しました。

日本経済新聞朝刊 2019年1月8日 ※赤線は弊社による

掲載銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

当資料は日本経済新聞社の承諾を得て記事を転載したものであり、記事の内容について、日興アセットマネジメントが正確性・完全性について保証するものではありません。また、記事に関する一切の権利は記事の提供元に帰属します。発行者の許可を得て掲載しています。コピー等のご遠慮ください。

○当資料は、日興アセットマネジメントが「フィンテック」についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。○投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。